

Enterprise Vault™ Deployment Scanner

12.3

Enterprise Vault™: Deployment Scanner

最終更新日: 2018-03-09。

法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、Enterprise Vault、Compliance Accelerator、Discovery Accelerator は、Veritas Technologies LLC または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、Veritas 社がサードパーティへの帰属を示す必要があるサードパーティソフトウェア (「サードパーティプログラム」) が含まれる場合があります。一部のサードパーティプログラムはオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスの下で利用できます。ソフトウェアに付属している使用許諾契約は、それらのオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスで規定されている権利または義務を変更するものではありません。この Veritas 製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバース・エンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

文書は「現状有姿のまま」提供され、市販性、特定目的との適合性または権利を侵害していないことを含むすべての明示または黙示の条件、表明および保証は、そのような免責が法的に無効であるとされた場合を除き、免責されます。VERITAS TECHNOLOGIES LLC は本書の供給、実行、または使用に関連した付随的、間接的な損害に対する責任を負わないものとします。本書に含まれる情報は、事前の通知なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR セクション 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により、Veritas がオンプレミスとして提供したか、ホストサービスとして提供したかにかかわらず、制限された権利の対象となります。米国政府による本ソフトウェアの使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
500 E Middlefield Road
Mountain View, CA 94043

<https://www.veritas.com>

テクニカルサポート

テクニカルサポートは、世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、サポート契約と、その時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供されます。サポートサービスとテクニカルサポートに連絡する方法について詳しくは、次の当社の Web サイトを参照してください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

次の URL で Veritas Account の情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関して当社に問い合わせる場合は、次に示すご利用の地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

全世界 (日本以外)

CustomerCare@veritas.com

日本

CustomerCare_Japan@veritas.com

テクニカルサポートに連絡する前に、Veritas Quick Assist (VQA) ツールを実行して製品のマニュアルに記載されているシステムの必要条件を満たしていることを確認してください。VQA は Veritas サポート Web サイトの次の記事からダウンロードできます。

https://www.veritas.com/support/en_US/vqa

マニュアル

最新版のマニュアルを確認してください。各マニュアルの 2 ページ目に最終更新日が表示されています。最新のマニュアルは Veritas の Web サイトで入手できます。

https://www.veritas.com/support/ja_JP/article.100040095

マニュアルのフィードバック

お客様のフィードバックは当社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの間違い、脱字などのご報告をお願いします。その際、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。フィードバックは次のアドレスに送信してください。

evdocs@veritas.com

次の Veritas コミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<https://www.veritas.com/community>

目次

第 1 章	本書について	5
	このマニュアルについて	5
	Enterprise Vault についての詳しい情報の入手先	5
	Enterprise Vault トレーニングモジュール	8
第 2 章	Veritas Enterprise Vault Deployment Scanner	9
	Enterprise Vault Deployment Scanner について	9
	Enterprise Vault Deployment Scanner のインストール	14
	Enterprise Vault Deployment Scanner の実行	15
	Enterprise Vault Deployment Scanner のトラブルシューティング	16
	Deployment Scanner を使った環境に関する情報のエクスポート	17

本書について

この章では以下の項目について説明しています。

- [このマニュアルについて](#)
- [Enterprise Vault についての詳しい情報の入手先](#)

このマニュアルについて

Enterprise Vault のインストールまたはアップグレードを行う前に、Enterprise Vault の実行を妨げる可能性のあるコンピュータの設定を報告する Deployment Scanner を実行する必要があります。

このマニュアルには次の情報が含まれます。

- Deployment Scanner がコンピュータで実行するテストの説明
- Deployment Scanner をインストールする方法
- Deployment Scanner を実行する方法
- トラブルシューティング情報
- 環境に関する情報をエクスポートする方法

Enterprise Vault についての詳しい情報の入手先

[表 1-1](#) に、Enterprise Vault に付属のマニュアルの一覧を示します。このマニュアルは、Veritas [ドキュメントライブラリ](#) から PDF および HTML 形式でも入手可能です。

表 1-1 Enterprise Vault マニュアルセット

マニュアル	コメント
Veritas Enterprise Vault ドキュメントライブラリ	<p>横断検索の可能な Windows のヘルプ (.chm) 形式の次のドキュメントがすべて含まれています。Acrobat (.pdf) 形式のマニュアルへのリンクも含まれています。</p> <p>このライブラリには、次を含む複数の操作でアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Windows エクスプローラで Enterprise Vault インストール先フォルダのサブフォルダ Documentation¥language¥Administration Guides を参照し、EV_Help.chm ファイルを開きます。 ■ 管理コンソールの [ヘルプ] メニューで [Enterprise Vault のヘルプ] をクリックします。
導入および計画	Enterprise Vault の機能の概要を説明します。
Deployment Scanner	Enterprise Vault をインストールする前に必要なソフトウェアと設定を確認する方法を説明します。
インストールおよび設定	Enterprise Vault の設定に関する詳細な情報を提供します。
アップグレードの手順	既存の Enterprise Vault インストールを最新バージョンにアップグレードする方法を説明します。
Domino サーバーアーカイブの設定	Domino メールファイルとジャーナルデータベースからアイテムをアーカイブする方法を説明します。
Exchange Server アーカイブの設定	Microsoft Exchange ユーザーメールボックス、ジャーナルメールボックス、パブリックフォルダからアイテムをアーカイブする方法を説明します。
ファイルシステムアーカイブ (FSA) の設定	ネットワークファイルサーバーに保存されているファイルをアーカイブする方法を説明します。
IMAP の設定	Exchange アーカイブとインターネットメールアーカイブへの IMAP クライアントアクセスを設定する方法を説明します。
SharePoint Server アーカイブの設定	Microsoft SharePoint サーバーの文書をアーカイブする方法を説明します。
Skype for Business のアーカイブの設定	Skype For Business のセッションをアーカイブ化する方法を説明します。
SMTP アーカイブの設定	他のメッセージングサーバーから SMTP メッセージをアーカイブする方法を説明します。

マニュアル	コメント
Microsoft ファイル分類インフラストラクチャを使用した分類	Windows Server の新しいエディションに組み込まれた分類エンジンを使用して、新規と既存のすべてのアーカイブ済みコンテンツを分類する方法について説明します。
Veritas Information Classifier を使用した分類	Veritas Information Classifier を使用して、業界標準の分類ポリシーの包括的なセットを基準に新規とアーカイブ済みのすべてのコンテンツを評価する方法について説明します。Enterprise Vault を使用した分類を初めて行う場合は、以前の直観的でないファイル分類インフラストラクチャエンジンではなく、Veritas Information Classifier の使用をお勧めします。
管理者ガイド	日常的な管理を実行する方法を説明します。
PowerShell コマンドレット	Enterprise Vault PowerShell コマンドレットを実行して、さまざまな管理タスクを実行する方法を説明します。
監査	Enterprise Vault サーバー上でイベントの監査情報を収集する方法を説明します。
バックアップと回復	システムエラーが起きた場合にデータ損失を防止する効果的なバックアップ戦略の実装方法や、回復手段を利用する方法を説明します。
レポート	Enterprise Vault サーバー、アーカイブ、アーカイブ済みアイテムの状態に関するレポートを提供する、Enterprise Vault Reporting の実装方法を説明します。FSA レポートを設定すると、ファイルサーバーとそのボリューム用の追加レポートを利用できます。
NSF 移行	Domino ファイルと Notes NSF ファイルから内容を Enterprise Vault アーカイブにインポートする方法を説明します。
PST 移行	Outlook PST ファイルから内容を Enterprise Vault アーカイブに移行する方法を説明します。
ユーティリティ	Enterprise Vault のツールとユーティリティについて説明します。
レジストリ値	レジストリ値を一覧表示している参照用の文書で、さまざまな側面から Enterprise Vault の動作を修正する場合に使うことができます。
管理コンソールのヘルプ	Enterprise Vault 管理コンソールのヘルプ。
Enterprise Vault Operations Manager のヘルプ	Enterprise Vault Operations Manager のヘルプ。

サポートされているデバイスとソフトウェアのバージョンの最新情報について詳しくは、『Enterprise Vault [Compatibility Charts](#)』を参照してください。

Enterprise Vault トレーニングモジュール

Veritas 教育サービスでは、基本的な管理から詳細トピック、トラブルシューティングまで、Enterprise Vault の包括的なトレーニングを提供します。教室でのトレーニングや仮想トレーニングなど、さまざまな形式でトレーニングできます。

Enterprise Vault トレーニング、カリキュラムのパス、認定オプションについて詳しくは、<https://www.veritas.com/services/education-services> を参照してください。

Veritas Enterprise Vault Deployment Scanner

この章では以下の項目について説明しています。

- [Enterprise Vault Deployment Scanner](#) について
- [Enterprise Vault Deployment Scanner](#) のインストール
- [Enterprise Vault Deployment Scanner](#) の実行
- [Enterprise Vault Deployment Scanner](#) のトラブルシューティング

Enterprise Vault Deployment Scanner について

Enterprise Vault Deployment Scanner は、コンピュータの設定をレビューし、そのコンピュータで Enterprise Vault の動作が停止する可能性のある問題について報告を行います。

[表 2-1](#) に、Enterprise Vault Deployment Scanner によって実行されるテストを示します。

表 2-1 Enterprise Vault Deployment Scanner のテスト

テスト名	説明
.NET Framework	.NET Framework のインストール済みバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。
ASP.NET	ASP.NET がインストールされていることをチェックします。
Active Server Pages (ASP)	Active Server Pages がインストールされていることをチェックします。

テスト名	説明
ウイルス対策のテスト	Enterprise Vault サーバーにインストールされているウイルス対策ソフトウェアを Enterprise Vault で正常に動作するように設定する必要があることを警告します。
分類の必要条件	<p>サーバーが Windows の FSRM (File Server Resource Manager) を使用する Enterprise Vault 分類の必要条件を満たしていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ File Server Resource Manager サービスをインストールする必要があります。 ■ このサーバーから他の Enterprise Vault サーバーに FSRM 分類ルールを配備するには、Microsoft データ分類ツールキットが必要です。 <p>Veritas Information Classifier を使用する分類の場合、これらのコンポーネントは必要ありません。</p>
DCOM	<p>DCOM サポートが有効になっていることを確認します。</p> <p>Enterprise Vault サーバーへのネットワークアクセスを保護するファイアウォールで、次のポート経由のアクセスを許可するように設定していることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ RPC エンドポイントマップポート (TCP ポート 135) ■ RPC 動的ポート (1024 から 65535 の範囲の TCP ポート)
ディレクトリデータベースのアップグレード	最新版の Enterprise Vault のデータベースをアップグレードするためにディレクトリデータベースのコンピュータに十分なディスク容量があることを確認します。
ディスクストレージ	すべての固定ディスクの総領域と利用可能な空き容量を報告し、どのディスクがシステムドライブかを示します。
EMC Centera の接続性	Centera アクセスノードに対する接続性をチェックします。
Enterprise Vault Search の必要条件	サーバーが Enterprise Vault Search 機能を提供するための必要条件を満たしていることを確認します。
Enterprise Vault サーバーのバージョン	Enterprise Vault がインストールされている場合は、そのバージョンを報告します。
Exchange Server 権限	ボルトサービスアカウントが Active Directory に対する十分な権限を持っていることをチェックします。
Exchange Server のバージョン	Microsoft Exchange Server のインストール済みバージョンについて報告します。

テスト名	説明
FSA クラスタ	ファイルサーバーのクラスタソフトウェア (Veritas Cluster Server または Windows Server フェールオーバークラスタリング) のバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。
FSA メタデータの移行	最新版の Enterprise Vault にアップグレードするには、まずアップグレードが必要なファイルシステムアーカイブ (FSA) レポートのデータを確認します。
ファイルサーバーの .NET Framework バージョン	ファイルサーバーにインストールされている .NET Framework のバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。
ファイルサーバーの .NET Framework WOW64 の機能	ファイルサーバーで必要な WOW64 機能が有効であることをチェックします。
ファイルサーバー権限	ボルトサービスアカウントがファイルサーバーに対して適切な権限を持っていることを確認します。
ファイル共有権限	ボルトサービスアカウントがファイル共有に対して適切な権限を持っていることを確認します。
IIS	<p>IIS のインストール済みバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。</p> <p>Enterprise Vault に必要な IIS コンポーネントがインストールされることをチェックします。</p> <p>ASP のサーバー側とクライアント側のスクリプトのデバッグが Web サービス、Web サーバー、Enterprise Vault 仮想ディレクトリに設定されていないことをチェックします。</p> <p>Windows Server Update Services ロールがインストールされないことをチェックします。</p>
IMAP ポート	ユーザーのアーカイブに IMAP を使ってアクセスする場合は、Enterprise Vault サーバーの適切なポートを開く必要があることを警告します。
インデックス処理必要条件	<p>Enterprise Vault のインストールパスが ASCII 以外の文字を含まないことをチェックします。</p> <p>Net.TCP ポート共有サービス、World Wide Web Publishing サービス、Web サーバー (IIS) CGI 機能が有効になっていることをチェックします。</p> <p>Veritas NetBackup または Veritas Backup Exec が検出される場合、インストールされるバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。</p>

テスト名	説明
Internet Explorer	Internet Explorer のインストール済みバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。
言語の設定	Enterprise Vault サーバー上の Windows 言語設定に関する問題がないかチェックします。
ライセンスチェック	有効な Veritas ライセンスがあることをチェックします。
Lotus Domino サーバーのバージョン	Domino サーバーのインストール済みバージョンを報告します。
Lotus Notes	Notes クライアントがインストールされていることをチェックします。
MMC のバージョン	MMC (Microsoft Management Console) のインストール済みバージョンを報告します。
MSDB の権限	ボルトサービスアカウントに Enterprise Vault データベースをホストするすべての SQL Server インスタンスでシステム管理者の役割が割り当てられていない場合は警告が表示され、msdb システムデータベースではボルトサービスアカウントに追加の権限が必要です。
MSMQ 設定	Microsoft Message Queuing (MSMQ) が Active Directory との統合なしでインストールされていて、すべてのストレージディレクトリがシステムドライブ以外の場所に存在することをチェックします。
MSMQ 権限	ボルトサービスアカウントが、Enterprise Vault が使うキューを作成するための十分な権限を持っていることをチェックします。
メモリ	物理メモリと仮想メモリの総容量と利用可能な容量を報告します。システムでページファイルを管理していない場合や物理メモリのサイズより小さい場合は警告します。
Microsoft Cluster Server (MSCS)	Windows Server フェールオーバークラスターリングのインストール済みバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。(Windows Server フェールオーバークラスターリングは <i>Microsoft Cluster Server</i> または <i>MSCS</i> と呼ばれていたものです。)
Microsoft Update	インストールされているすべての Microsoft Update を一覧表示します。
OCR 変換	Windows の機能である Windows TIFF IFilter をインストールしていることを確認します。この機能は、OCR (光学式文字認識) に変換する場合に必要です。

テスト名	説明
オペレーティングシステム	Enterprise Vault が、オペレーティングシステムとそれに関連するサービスパックのインストール済みバージョンをサポートしているかどうかをチェックします。 テストはコンピュータに デスクトップ環境機能 をインストールしたこともチェックします。この機能は Enterprise Vault 管理コンソールの最適なパフォーマンスが必要になります。
Outlook のプロファイル	有効な Microsoft Outlook プロファイルが作成されていることチェックします。
Outlook のバージョン	Microsoft Outlook のバージョンを報告します。
PowerShell	Windows PowerShell の適切なバージョンがインストールされていることをチェックします。
CPU	プロセッサ情報を報告します。
レジストリチェック: AttachmentMax	AttachmentMax レジストリ値がベストプラクティスに従って設定されているかどうかを報告します。
レジストリチェック: DisableLoopbackCheck	DisableLoopbackCheck レジストリキーが設定されているかどうかを報告します。
レジストリチェック: DisableStrictNameChecking	DisableStrictNameChecking レジストリキーが設定されているかどうかを報告します。
レジストリチェック: RecipientMax	RecipientMax レジストリ値がベストプラクティスに従って設定されているかどうかを報告します。
SQL の照合順序	Enterprise Vault ディレクトリデータベースとボルトストアに照合順序の混在がある場合はそれを報告します。
SQL データベースの互換性	すべての Enterprise Vault データベースがサポートされている互換性モードで動作しているかどうかを報告します。
SQL Server の接続性	SQL Server が、TCP/IP と名前付きパイププロトコルを経由したネットワーク接続をサポートしていることをチェックします。
SQL Server 権限	ボルトサービスアカウントが適切な SQL Server 権限を持っていることをチェックします。
SQL Server Reporting Services	SQL Server Reporting Services のサポートされているバージョンがあるかどうかを報告します。

テスト名	説明
SQL Server のバージョン	インストールされている SQL Server のバージョンを報告し、Compliance Accelerator と Discovery Accelerator に必要な最小バージョンより前のバージョンである場合は警告します。
SharePoint	対象システムに SharePoint がインストールされることをチェックします。 SharePoint 2013 以降をインストールしている場合は、C2WTS (Claim to Windows Token Service) を設定して実行していることを確認します。 対象サーバー上で、DCOM ポート 135 が受信接続に対するファイアウォールでオープンであることをチェックします。
TEMP フォルダのセキュリティ	TEMP フォルダに無断でアクセスしていないことを確認します。
VCS 認証クライアントバイナリ	VCS クラスタファイルサーバーで高可用性の FSA サービスを設定するときに Enterprise Vault サーバーで必要となる認証クライアントバイナリの有無をチェックします。
VERITAS Cluster Server のバージョン	Veritas Cluster Server (VCS) のインストール済みバージョンが Enterprise Vault と互換性があることをチェックします。
VMware サーバー	サーバーが仮想サーバーであるか、物理サーバーであるかを調べ、VMware 仮想環境に Enterprise Vault を配備する際のベストプラクティスへのリンクを提供します。
ボルトサービスアカウント	ボルトサービスアカウントが Local Administrators グループのメンバーであることをチェックします。

Enterprise Vault Deployment Scanner のインストール

Deployment Scanner は Enterprise Vault プログラムフォルダに自動的にインストールされます。インストールパッケージ Veritas Enterprise Vault Deployment Scanner.msi も Enterprise Vault メディアの Veritas Enterprise Vault\Deployment Scanner フォルダで利用できます。

Enterprise Vault がインストールされていない場合、または Enterprise Vault メディアへのアクセスができない場合、Enterprise Vault に対してシステムの環境が整っていることをチェックするため、別途 Deployment Scanner をインストールできます。インストール可能ファイルを取得するには、Veritas のテクニカルサポートに連絡してください。

Enterprise Vault Deployment Scanner を個別にインストールする方法

- 1 Enterprise Vault Deployment Scanner を実行するコンピュータに、提供された .msi ファイルをコピーします。

Enterprise Vault サービスをインストールするコンピュータで Deployment Scanner を実行する必要があります。
- 2 Windows のエクスプローラで、.msi ファイルをダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

Enterprise Vault Deployment Scanner の実行

Enterprise Vault Deployment Scanner では、ウィザード形式のインターフェースを使ってテストプロセスを実行します。

Enterprise Vault インストールプログラムを開始する場合、Deployment Scanner を実行するオプションが与えられます。または、個別にいつでも実行できます。

メモ: Deployment Scanner を実行する前に、スキャン対象の全システムの Administrators グループにボルトサービスアカウントを追加します。

Enterprise Vault Deployment Scanner を実行する方法

- 1 ボルトサービスアカウントを使ってログオンします。
- 2 次のいずれかの方法で Deployment Scanner を起動します。
 - Windows で [Deployment Scanner] のショートカットをクリックします。
 - ボルト管理コンソールの左ペインで、ボルトサイトをクリックします。次に、[ツール] メニューで、[拡張機能] を選択していることを確認します。最後に、左ペインで Enterprise Vault サーバーを右クリックして、[Deployment Scanner] をクリックします。
 - Deployment Scanner の実行可能ファイルである Deployment_Scanner.exe を探してダブルクリックします。この実行可能ファイルは、必要に応じてローカルコンピュータまたはリモートコンピュータで実行できます。Enterprise Vault のインストール後に、このファイルは Enterprise Vault プログラムフォルダでも利用できます。
- 3 以前に Deployment Scanner を実行したことがあり、設定オプションを再入力せずにもう一度このインターフェースを実行する場合は、[ようこそ] ページで [Do not set configuration options for Deployment Scanner] を選択します。

- 4 [Do not set configuration options for Deployment Scanner]を選択した場合は、[次へ]をクリックして手順 6 に進みます。それ以外の場合は、2 つの[Server Configuration]ページ内のすべてのフィールドに入力してください。

Microsoft SQL Server(s)	SQL Serverをインストールしているコンピュータを識別します。Enterprise Vault は SQL Server を使って設定データとアーカイブに関する情報を格納します。
Microsoft Exchange Server(s)	ユーザーのメールボックス、ジャーナルメールボックス、パブリックフォルダ内のアイテムをアーカイブする Microsoft Exchange Server を識別します。
Microsoft SharePoint Server(s)	アーカイブ対象の文書を保持する Microsoft SharePoint Server のアドレスを指定します。
File Server(s)	アーカイブ対象のファイルを含むファイルサーバーを識別します。
File Share(s)	アーカイブ対象のファイルを含むネットワーク共有のバスを指定します。
EMC Centera Access Node(s)	Centera クラスタ内のアクセスノードの IP アドレスを指定します。

各フィールドには、新しいアイテムを追加できます。アイテムを追加する場合は、新しいアイテムの名前またはアドレスを入力して[追加]をクリックします。一覧からアイテムを削除するには、削除するアイテムをクリックしてから[削除]をクリックします。

- 5 すべてのオプションの設定が完了したら、[次へ]をクリックしてテストを続行します。
- 6 ユーティリティがテストを実行し、その結果が表示されるまでしばらく待機します。
- 7 青いリンクをクリックすると、各テスト結果の詳細情報が表示されます。Enterprise Vault Deployment Scanner では、テスト結果が画面に表示されるだけでなく、Reports サブフォルダに HTML ファイルでレポートが保存されます。このレポートファイルの名前は、ファイルを作成した日付と時刻で識別されます。
- 8 [完了]をクリックして、Enterprise Vault Deployment Scanner を終了します。

Enterprise Vault Deployment Scanner のトラブルシューティング

表 2-2 に、Enterprise Vault Deployment Scanner の実行時に表示される可能性があるエラーメッセージを示します。

表 2-2 Enterprise Vault Deployment Scanner のエラーメッセージ

メッセージ	考えられる原因
構成ファイルを読み込むことができませんでした！この製品の構成データが壊れています。 または 構成ファイルを読み込むことができませんでした！システムは指定されたファイルを見つけないことができません。	PreReqConfig.xml ファイルが消失したか、壊れている可能性があります。このファイルは Enterprise Vault Deployment Scanner をインストールしたフォルダ内に存在している必要があります。
構成ファイルを保存できませんでした！アクセスが拒否されました。	PreReqConfig.xml ファイルが読み取り専用である可能性があります。
コンピューターをスキャンできませんでした！アクセスが拒否されました。	Reports サブフォルダが読み取り専用である可能性があります。
コンピューターをスキャンできませんでした！クラスが登録されていません。	PreReqScan.dll ファイルが登録されていない可能性があります。コマンドプロンプトウィンドウを開き、以下を入力してファイルを登録します。 regsvr32 path¥PreReqScan.dll
コンピューターをスキャンできませんでした！データが有効ではありません。	PreReqStyle.xml ファイルが存在しない可能性があります。このファイルは Enterprise Vault Deployment Scanner をインストールしたフォルダ内に存在している必要があります。

Deployment Scanner を使った環境に関する情報のエクスポート

既存の Enterprise Vault ユーザーの場合は、環境要因によって問題が起きたときに、Deployment Scanner から Veritas Quick Assist を起動できます。Veritas Quick Assist は設定情報を収集し、Veritas テクニカルサポートが分析できる形式でエクスポートします。

メモ: Veritas Quick Assist からインターネットにアクセスできる場合は、自動的に新しいバージョンを調べてダウンロードします。詳しくは Veritas サポート Web サイトで次の記事を参照してください。

<https://www.veritas.com/docs/100014202>

Enterprise Vault Deployment Scanner を使った環境に関する情報のエクスポート

- ◆ Deployment Scanner の[ようこそ]ページで[Veritas Quick Assist を通じて情報を取得]を選択してから、[完了]をクリックします。

Deployment Scanner によって Veritas Quick Assist が起動されます。